



発行所
山形新聞社

〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12
総合案内 023(622)5271
読者センター 023(622)5666
(平日9時30分～17時30分)
(c)山形新聞社2019

2019年
4月30日
〈火曜日〉

電子
速報版



特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

「国民に心から感謝」

退位礼 天皇陛下、最後のお言葉



「退位礼正殿の儀」で、お言葉を述べられる
天皇陛下。左は皇太子さま
＝30日午後5時8分、宮殿・松の間（代表撮影）

天皇陛下は30日夕、皇居・宮殿「松の間」で、代替わりの重要儀式「退位礼正殿（せいいでん）の儀」に臨まれた。85歳の陛下は在位中最後のお言葉で「支えてくれた国民に、心から感謝します」と述べた。象徴のあるべき姿を追求し続けた陛下はこの日限りで退位し、5月1日に59歳の皇太子さまが新天皇に即位する。30年余りの「平成」が幕を閉じ「令和」に改元される。

天皇の退位は、江戸時代の光格天皇以来202年ぶりで、憲政史上初めて。今回は2017年6月に成立した、陛下一代限りの退位を認める皇室典範特例法に基づき行われることになった。

退位礼正殿の儀は、憲法が天皇の仕事と定める国事行為として執り行われた。安倍晋三首相が「天皇陛下は皇后さまと一緒に、国民に寄り添い、明日への勇氣と希望を与えてくださっ

た」と国民代表としてあいさつし、陛下が「象徴としての私を受け入れ、支えてくれた国民に、心から感謝します」と応じた。皇族や三権

の長、閣僚らが参列した。皇太子さまは即位後の1日午前、宮殿で即位の重要儀式「剣璽（けんじ）等承継の儀」と「即位後朝見の儀」に臨む。陛下は1989年1月、昭和天皇が亡くなったことに伴い、現憲法下で初めて象徴天皇として即位した。

購読・試読のお申し込みは――

フリーダイヤル 0120-81-8040